「ケーススタディで学ぶ日本人赴任者向け研修」のご案内

～中国人材ビジネス 18 年の実績から、中国マネジメントのノウハウを伝授～

事業のグローバル化により中国への新規進出・事業拡大を図る日本企業は増加する一方、赴任後に日本との商習慣の違いや法律・ビジネスの進め方などの違いから、戸惑いを持つ赴任者も少なくありません。

本研修では、インテリジェンスが持つ中国での 18 年にわたる実績をもとに、ノウハウ・エッセンスをプログラム化。

中国の基本情報や中国人社員とのコミュニケーション・マネジメントなど、中国で活躍できる人材に必要な要素をもとにケーススタディも実施いたします。

中国基礎知識などすぐに活かせる実績的な内容から、現地法人や駐在員のミッションといった概念的なテーマまで、中国でマネジメントをするうえで必要不可欠なことを学べる研修です。

＜勉強会概要＞

「ケーススタディで学ぶ日本人赴任者向け研修」

日時：2016 年 11 月 28 日（月）13：30～17：30

会場：インテリジェンス北京会議室　　北京市建国門外大街 2 号銀泰中心 C 座3003室

参加費：1,200 元/名

※弊社北京人事労務コンサルティングメンバーシップの方には無料にてご案内させて頂きます（1 名まで）。

勉強会内容：

第一部　中国を知る……中国の歴史、社会の背景、80 後・90 後、日系企業で働く中国人社員の本音

第二部　中国でのマネジメントのポイント……コミュニケーション、価値観の相違、日本とのマネジメントの違い

第三部　赴任者に求められる役割と自己分析……赴任者に求められる役割と基礎能力チェック、ワークショップ

第四部　ケーススタディ……異文化マネジメント、リーダーシップ

＜参加者の声＞　※過去のアンケート回答より

中国人部下のマネジメントの注意点が良く分かりました。中国人スタッフに一目置かれるような上司になるべく、学んだことを実践で活かしていきたいと思います。（メーカー/製造部長）

中国の教育背景や中国人の志向性を理解できたので、「これだから中国人は」で言い訳せずに、ポジティブに現地法人の運営を行っていけそうです。（流通小売/責任者）

中国人はすぐ辞めると言われていますが、会社のマネジメントや制度によって改善できることもあることが分かりました。本社からも支援が必要だと痛感しました。（商社/管理部長）

前任者から、日本本社との調整や現地人材のマネジメントが大変だと聞いていましたが、乗り越え方のアドバイスがとても腹落ちでき、前向きに取り組めそうです。（メーカー/総経理）

今月中国に赴任したので参加しました。必要な情報がコンパクトにまとまっていて、事例やケーススタディも非常に参考になりました。（メーカー/技術者）

＜講演者＞

【氏名、役職】

金鋭（きん・えい）

インテリジェンスHITO　総合研究所フェロー

【プロフィール】

1989 年㈱リクルート入社、一貫して HR ビジネスに従事。

1996 年に中国新規事業担当。

1999 年よりインテリジェンス上海の前身で日系企業向け人材紹介会社の草分けでもある上海創価諮詢に共同経営者として経営参加。中国で 15 年間日系企業の人事問題を見続けてきた。 日本人駐在員向けの研修を過去 40 回開催、参加者 350 名という実績を残っている。人事・労務関連のセミナー開催実績も多数。日経ビジネスオンラインにコラム掲載。

ケーススタディで学ぶ日本人赴任者向け研修お申込み（FAX もしくはメールにてお申込みください）

FAX：+86-10-85172400　Mail：seminar_bj@yingchuang.com　　インテリジェンス北京　小林／王　宛

貴社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　**御氏名：**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

御役職：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　**中国赴任歴：**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ヶ月

TEL：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　**メール：**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿